

## 基本的事項

各教科等の指導と同様に、まずは教室等のこまめな換気の徹底や、飛沫を飛ばさないよう、咳エチケットの要領でマスクを装着するよう指導するなど、感染症対策を講じること。



### ○ 身体的な接触の回避

外国語の授業では、コミュニケーションの一環としてハイタッチ等をさせるケースがあるため、お互いの距離を取る観点からそのような行動を避けることが望ましい。

### ○ 体育館や視聴覚室、大教室など、広い空間での指導

通気と距離を確保する観点から、特に伝え合う活動に焦点を当てた授業を実施する際には、教室以外の広い空間を使用することも考えられる。

### ○ 児童生徒同士が接近しないための工夫

・言語活動のため机を向かい合わせにしたり、隣同士でつけることがあるが、それを避けるために机を前に向かせることが考えられる。

・特に小学校では、広い教室を使う場合でも、子ども同士が接近することが多いので、ビニールテープを使って位置を示したり、距離を取らせたりする。また、本などを持って説明したり読み聞かせをしたりする際は、子どもが密集する可能性があるため、実物投影機などを使って近付かなくてもよい工夫をする。